

フィールドワーク 「ねぶた学」

【目 的】

地元の祭り「大湊ネブタ」について探究活動を進める中で、ねぶた祭りの本場である青森ねぶたの制作者の講演を聞き、伝統文化の保存と特色ある街づくりについて学習し、技術を継承しながら郷土愛を育むことを目的とする。



【生徒たちの感想】

・ねぶた師の竹浪比呂央さんの貴重な講演を聞き、代々受け継がれてきた青森ねぶた祭の歴史の奥深さを実感することができて良かったです。その中で、歴史をそのままねぶたにするのではなく、絵画などからヒントを得て、自分で想像しアレンジを加えながら作りたいものを作るという熱意を聞き、それが芸術作品につながっていることを実感しました。

・ねぶた師の竹浪比呂央さんの講演を聞き、美術館に行くことで寿命が延びるということを知りました。1枚の絵から立体にするねぶたは、祭りという分野を通り越し、アートという分野にふさわしいと感じました。まさに「ねぶたからNEBUTAへ」でした。私も地元の祭りが好きなので、伝統を守っていけるようこれからも頑張りたいと思います。